

<平成 27 年度>

## 健康部 保健所の取り組み実績

保健企画課  
保健衛生課  
保健予防課  
保健センター

### I 重点施策・事業

#### ◆在宅医療と介護の連携の推進

超高齢社会の到来に備え、住みなれた地域で安心して暮らすことができるよう、医師をはじめとする多職種の人材が連携し、地域で必要としている医療と介護を切れ目なく提供できる地域包括ケアシステムの構築に向けた環境整備に努めます。

#### 実績

- ・地域ケア推進実務者連絡協議会に参画し、医療と介護の効果的な連携に向けた課題の抽出や情報の収集に努めた。
- ・難病患者のレスパイト入院受入に関する現状や課題を共有し検討するため、市内病院 MSW 等を対象に「難病患者のレスパイト入院に関する情報交換会」を実施した。参加医療機関数：17 医療機関
- ・高度医療患者の地域での受入を推進するため、医師・在宅医療スタッフを対象に体験型研修「在宅人工呼吸器の知識」を実施した。参加者数：71 名
- ・「枚方市難病対策分野 神経難病対策医療ネットワーク部会」を立ち上げ、第 1 回実務者会議を開催。活動報告や在宅医療のモデルケースである難病患者が抱える課題について意見交換を行った。次年度は、在宅医療の実態把握と推進に取り組んでいく。

#### ◆狂犬病予防及び動物愛護管理への取組

犬の登録及び狂犬病予防注射の徹底や人と動物の共生を推進するため、愛護動物の適正飼養の啓発に努めるとともに、殺処分される犬猫を減らすため犬猫譲渡制度の周知を図ります。

また、犬猫飼養管理拠点施設のあり方について、検討を進めます。

#### 実績

- ・高い狂犬病予防注射接種率を維持するために、引き続き集合注射の実施及び獣医師に対して委託契約を締結するとともに、リーフレット等による市民に対する周知・啓発を図った。
- ・愛犬お悩み相談会、犬のしつけ方教室及び適正飼養講習会を開催し、不妊手術費補助金を交付するなど、適正飼養の推進・啓発に努めた。
- ・ホームページ等で譲渡動物の周知を図った結果、猫の譲渡数増加に寄与した。
- ・犬猫飼養管理拠点施設あり方検討会議で庁内関係課長と協議を実施した。

#### ◆こころの健康づくりの推進

市民が身近にこころの健康相談ができる体制づくりの一環として、専用電話によるこころの電話相談及びモバイル機器を活用したメンタルチェックシステム「こころの体温計」を導入し、こころの健康づくりの啓発に努めます。また、コンソーシアム参画団体で構成するこころの健康増進部会を中心に、相談から適切な支援につなげるための包括的ネットワークの構築を目指します。

#### 実績

- ・こころの健康相談（専用ダイヤル）の開設 こころの健康相談利用件数：792 件（うち専用ダイヤル利用件数 111 件）
- ・メンタルチェックシステム「こころの体温計」を導入。関係機関や市民へ PR 用チラシを配付した。
- ・こころの健康増進のための連携事業では「こころの健康増進部会（実務者会議）」を立ち上げ精神科と一般科の連携方策について検討、取り組みとして「枚方市内精神科・心療内科 医療機関情報シート」を作成し、枚方市内全医療機関へ配付した。

#### ◆妊娠・出産から子育て期までの支援

安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠・出産を望む人が必要な医療を受けるための環境づくりとして、妊産婦健康診査や不妊症及び不育症治療に対する経済的支援を行います。あわせて妊娠時から支援の必要な市民を把握し、早期に支援につなげ、出産直後は保健師、助産師による新生児・産婦訪問指導事業や母子保健コーディネーターによる訪問・面接相談、「産後ママ安心ケアサービス（枚方市産後ケア事業）」などを通じて、妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない支援を推進します。

#### 実績

- ・体外受精または顕微授精を受けた方から 596 件の申請があり、内 593 件に特定不妊治療費の助成を行った。また、不育症治療費を受けた方から 21 件の申請があり全件へ治療費の助成を実施した。
- ・1 月に産後ママ安心ケアサービス（枚方市産後ケア事業）の委託機関が 1 か所増え 6 か所で利用できるようになった。  
〔利用実績〕利用延件数：デイサービス 37 件、ショートステイ 97 件

#### ◆歯科口腔保健計画の策定

歯と口腔の健康の保持・増進は、健康で質の高い生活を営む上で基礎的かつ重要な役割を果たします。市民の歯や口腔の健康状態の現状や課題、歯や口腔の健康づくりに取り組むための目標や方向性などの事項を掲げた「枚方市歯科口腔保健計画」を策定し、歯科・口腔保健施策の更なる充実を図ります。

#### 実績

- ・枚方市健康増進計画審議会に諮問し答申を受け、3 月に枚方市歯科口腔保健計画を策定した。

#### ◆健康寿命延伸への取組

生活習慣病や認知症予防のために、新たに健康ウォーキングマップを活用したイベントの開催及び府立精神医療センター等と協働で認知症予防プログラムの開発・実施に取り組みます。

#### 実績

- ・健康ウォーキングイベントの実施  
計 7 回 延参加人数 1,304 人
- ・こころとからだ生き生き教室の実施  
1 コース（全 8 回）延参加者 68 人

## II 行政改革・業務改善

### <改革・改善サイクルに係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
健康づくり推進事業	京阪電気鉄道（株）と連携したひらかたカラダづくりトライアル事業の充実
実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・健康ウォーキングマップ（5,000 部）を作成し配布</li><li>・モデルコースを踏破するためのウォークラリーを実施 達成者 172 名</li></ul>

### <業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
受診票の点検事務等のアウトソーシング	がん検診や予防接種等に係る帳票の点検・集計等の民間事業者への委託。
実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・がん検診受診票、予防接種予診票、妊婦健康診査受診券等の点検・集計業務委託について、平成 28 年 4 月からの開始に向け準備を進めた。</li></ul>

## IV 組織運営・人材育成

### ◆保健師の人材育成

中核市移行に伴い、より質の高い地域保健サービスが求められる中、保健師の専門能力の向上を目的に、保健師人材育成ガイドラインに基づき、保健師の組織的、計画的な人材育成の体制を構築します。

#### 実績

- ・保健師の力量形成と資質の向上をめざし、地域における質の高い保健活動を提供できる体制を推進するため、保健師人材育成関係課会議を設置し、保健師活動マニュアルの作成や研修体系の構築等について検討を行った。

## V 広報・情報発信

### ◆保健衛生推進のPR

保健衛生事業推進のため、FMひらかたを通して市民の暮らしや健康に役立つ様々な情報を発信するとともに、放送内容をホームページに掲載することで市民に広く周知を行います。

#### 実績

- ・毎週木曜日の午後2時から、FMひらかたを通して市民の暮らしや健康に役立つさまざまな情報を発信するとともに、ホームページにおいて「ほけんしょ通信」として放送内容を掲載し、保健衛生事業の推進を図った。